



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

発行所 自由民主党本部 毎週火曜日発行【号外】
〒100-8910 千代田区永田町 1-11-23 TEL.03-3581-6211(代表)

衆議院議員 国土交通副大臣 自民党神奈川県第九選挙区支部

中山のりひろ



『新世界秩序へ くらし・経済を』

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、北朝鮮のミサイルや核開発、そして世界的なコロナ感染が複合し、様々な影響が私たちの生活に及んでいます。エネルギーやレアアースなどの資源、小麦など食料を含む原材料の価格高騰に加えて、円安による輸入物価の上昇は、家計をはじめ物流、学校給食まであらゆる場面へ負担の広がりが心配されます。私たちの日常が動じないよう、我が国は安全保障はもとより外的要因に耐性のある社会経済の構造へ適応していくことが大切です。

折しも5月には『経済安全保障推進法』を成立することができました。私たちの生活に必須な物資や、電気・ガス・水道、通信、金融、交通などの基幹インフラ、先進技術と科学研究が、安全保障上の脅威にさらされないことと同時に悪用されないことを主眼としています。したたかな外交、経済関係を模索する一方で、自由、民主主義、法の支配といった普遍的価値をもとに、その世界線を映す、財やサービスの国際サプライチェーンや経済圏の再構築を考へることも必要なきかもしれません。

いま、私たちはAI・ロボット、ネットワーク実装による有機的なデジタル、EVや水素エネルギーなどの浸透からカーボンニュートラル、災害やパンデミックに堅牢で持続可能な環境へと駆け足で進んでいます。そして、エシカル(倫理的)消費のよう、人権や地球環境、食料・エネルギー・医療に係る安全保障をも慮った生活様態が浸透しはじめていると思います。

「子育てしやすい」「女性が存分に活躍できる」「チャレンジ、スタートアップが望める」「働くひとへきちんと分配される」、そういったことが評価される企業環境や社会へとさらに変貌していかなければなりません。

我が国から国際社会において新たな秩序『新しい資本主義』の展開へなお一層努めてまいります。

皆様におかれましては「自愛の上、今後とも指導・鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



参院予算委
国会中継

液化天然ガス
輸入価格高騰



知床遊覧船事故の現地対策
本部の指揮を担いました。

船内の画像公開
水中カメラで撮影

船内の画像
乗客の家族に対する説明会で状況説明



観光船沈没
再発防止など改めて決意
事故発生から1か月

中山 国土交通副大臣

再発防止に向けて不退転の覚悟で
改めてしっかり行うことを誓いました



ABEMA news / NEWS
新たな航空燃料 SAFの国産化推進へ



【写真上】北海道胆振東部地震の土砂災害の復旧状況を確認
【下】持続可能な航空バイオ燃料の導入へ第1回官民協議会

中山のりひろ(ルール形成戦略議員連盟事務局長)は『経済安全保障』を起案、政策を提言しています。



永田町 政策マップ

【日本経済新聞】
令和4年5月31日朝刊

経済安保のルール

日本が経済分野で国際ルールの柱となる項目を訴えた。内閣官房の幹部から「ルーラー」ではなく「ルー」などと定期的に勉強会を開き、法案の土台を練った。甘利氏はいま改めて「党内議論の先鞭(せんべん)となれ」と中山氏らに檄(げき)を飛ばす。「経済安保の法体系は常にアップデートしないと浮上している。機密情報の取扱資格者を政府が認定する「セキユリティー・クリアランス」制度の創設が一案とす。機密情報は「日本から漏れる」と心配する。提言は「日本から漏れる」と心配する。提言は「日本から漏れる」と心配する。

「甘利議連」が議論けん引

経済安保のルール作りに関する自民党の主な組織・議員

組織	ルール形成戦略議連	甘利氏を中心に2017年に設立。およそ80人規模
	経済安全保障対策本部	昨年秋の岸田政権発足後、新国際秩序創造戦略本部を改称
議員	甘利明 (衆13)	前幹事長。議連会長、対策本部の座長
	中山展宏 (衆4)	議連の事務局長。提言とりまとめなどの実務担当
	山田賢司 (衆4)	議連の国際機関ガバナンスWTの事務局長
	藺浦健太郎 (衆5)	対策本部で高市氏や甘利氏を支える

(注)敬称略、カッコ内の数字は当選回数

国際社会主導へ新構想

「進んでいない」との指摘が出る。米国の国防高等研究計画局(DARPA)のような機能も検討する。将来的に安保に資する可能性がある技術の研究計画を募り、集中的に資金支援をする役割を果たす。防衛省が民間研究に資金を投じられる策を探る。権威主義国がSNS(交流サイト)などで仕掛けるフェイクニュースへの対処も念頭におく。偽の情報を拡散させることで相手国の国内の世論に不安をおおる手法はロシアのウクライナ侵攻でも脅威になった。仮に中国が台湾に侵攻した際には、日本の関与を妨げるため世論に働きかけるシナリオが考え得る。甘利氏は「米軍を沖繩から撤退させる」という世論をつくらうとするだろう」と予測する。中山氏は「非代替性トーン(NFT)やメタバースといった新しいサイバー分野の経済安保について考えていきたい」と構想する。

中山のりひろ プロフィール

昭和43年生まれ、早稲田大学大学院中退、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員。証券会社債券ディーラーを経て平成21年公募にて出馬、平成24年初当選、現在4期。

外務大臣政務官、衆議院内閣委員会理事、財務金融、外務、科学技術イノベーション、消費者問題委員、自民党内閣部会長代理、外交部会長代理、財務金融副部会長、運輸交通・生活安全関係団体委員長等歴任。ルール形成戦略議員連盟事務局長、半導体戦略推進議員連盟事務局長次他。

川崎市麻生区在住、国会へ電車通勤。家族は妻とワンちゃん。

中山のりひろ後援会 ご入会のお願い

国会や地元活動をもっと身近に親しく。入会金、年会費はかかりません。

自民党 党員 大募集

自民党総裁の選挙権を有するほか、党活動、各種行事をご案内致します。党費は年額4,000円(ご家族の方は2,000円)です。

自由民主党 神奈川県第九選挙区支部 【川崎市多摩区・麻生区・宮前区神木本町】

衆議院議員 **中山のりひろ** 事務所

〒214-0014 川崎市多摩区登戸2663 東洋ビル5F(向ヶ丘遊園駅そば)
TEL 044(322)8600 FAX 044(322)8601

